

## 磁性アタッチメント（フィジオマグネット）の取り扱いについて

日本歯科医師会 保険医療課

今般、9月1日より保険適用される磁性アタッチメント（フィジオマグネット）について、以下の点にご留意ください。

1. 本材料は、有床義歯及び根面板（金属歯冠修復で根面を被覆するものをいう。）に用いた場合に限り算定できます。
2. 磁石構造体又はキーパーを使用した場合は、製品に付属している使用した材料の名称及びロット番号等を記載した文書（シール等）を保存して管理してください（診療録に貼付する等）。

## 3. 診療報酬明細書の記載方法

## 「歯冠修復及び欠損補綴」欄

## 「その他」欄について

- 磁性アタッチメントに係るキーパーを装着した金属歯冠修復は、前歯及び小臼歯に銀合金を用いた場合は「**キ前小銀**」、前歯及び小臼歯に鑄造用金銀パラジウム合金を用いた場合は「**キ前小パ**」、大臼歯に銀合金を用いた場合は「**キ大銀**」、大臼歯に鑄造用金銀パラジウム合金を用いた場合は「**キ大パ**」と表示し、点数及び回数を記載してください。
- 有床義歯に磁石構造体を装着した場合は、「**マグ**」と表示し、点数及び回数を記載してください。

## &lt;例：大臼歯に金パラを用いた場合（R3.9時点）&gt;

綴	16~19回	10~15回	6~9回		2~5回	1回	その他	16~19回	10~15回	6~9回	2~5回	1回		
	歯冠義歯	2412×	合	1020×	鉤 腕前	780×	710×	理	367×	+50×	+30×	歯冠	×	×
その他	キ大パ 1123×1 ← 点数(インレー単純+装着料+内面処理加算2+金属材料料+装着材料料+キーパー)×回数を記載する マグ 1029×1 ← 点数(有床義歯修理+磁石構造体)×回数を記載する													
その他														

## 4. 基本的な考え方

実施に当たっては、日本歯科医学会の定める「磁性アタッチメントを支台装置とする有床義歯の診療に対する基本的な考え方」を参考にしてください。

<日本歯科医学会ホームページ 歯科診療に関する基本的な考え方>

URL : <https://www.jads.jp/basic/index.html>

## 5. 請求点数

### 【留意事項通知】

#### M010 金属歯冠修復

(15) 歯内療法により根の保存可能なものに適切な保存処置の上、有床義歯（区分番号 M030 に掲げられる有床義歯内面適合法の「2 軟質材料を用いる場合」で義歯床用軟質裏装材を使用して間接法により床裏装を行った場合は除く。）に磁性アタッチメントを使用することを目的とし、キーパーを装着した金属歯冠修復で根面を被覆した場合は、1 歯につき、区分番号 M005 に掲げる装着の「1 歯冠修復」(技術料 45 点) 及び「注 2 内面処理加算 2」(技術料 45 点) 並びに区分番号 M010 に掲げる金属歯冠修復の「1 のイ 単純なもの」(技術料 190 点) を準用して算定する。

また、保険医療材料料は、区分番号 M005 に掲げる装着の「1 歯冠修復」(接着材料料 17 点) 及び区分番号 M010 に掲げる金属歯冠修復の「1 のロ 複雑なもの」(金属材料料インレー複雑/金パラ・銀合金) に準じて算定するとともに、キーパーの材料料(材料料 233 点) を算定する。

この場合において、歯冠形成は区分番号 M001 に掲げる歯冠形成の「3 のイ 単純なもの」(技術料 60 点) を算定し、装着は区分番号 M005 に掲げる装着の「1 歯冠修復」(技術料 45 点) を算定する。なお、実施に当たっては、関連学会の定める基本的な考え方を参考とする。また、キーパーを使用した場合は、製品に付属している使用した材料の名称及びロット番号等を記載した文書（シール等）を保存して管理すること（診療録に貼付する等）。

#### M029 有床義歯修理

(8) 有床義歯（区分番号 M030 に掲げられる有床義歯内面適合法の「2 軟質材料を用いる場合」で義歯床用軟質裏装材を使用して間接法により床裏装を行った場合は除く。）に磁性アタッチメントを使用することを目的とし、根面を被覆するキーパーを装着した金属歯冠修復と密接するように、磁石構造体(材料料 777 点) を装着した場合は、1 個につき、区分番号 M029 に掲げられる有床義歯修理(技術料 252 点) を準用して算定する。なお、実施に当たっては、関連学会の定める基本的な考え方を参考とする。また、磁石構造体を使用した場合は、製品に付属している使用した材料の名称及びロット番号等を記載した文書（シール等）を保存して管理すること（診療録に貼付する等）。なお、義歯の破損、増歯等に対する有床義歯修理と同時に有床義歯に磁石構造体を装着した場合の有床義歯修理は、所定点数により別途算定する。

### 〔根面板の形成・印象〕

歯冠形成	印象採得料
60点	64点

〔キーパー付根面板を作製〕

+

根面板（インレー単純） （準用点数）	+	装着料 （準用点数）	+	内面処理加算2 （準用点数）
190点	+	45点	+	45点

+

金属材料料（インレー複雑）		
	金パラ	銀合金
前歯・小臼歯	434点【480点】	24点【26点】
大臼歯	593点【656点】	33点【35点】

※令和3年10月1日からは【 】の点数を算定する。

装着材料料

17点

≠ — ノゝ —

233点

上記合算点数を、レセプトの「歯冠修復及び欠損補綴」の「その他」欄に点数及び回数を記載

級	12~14歳	1518×	692×	944×	747×	腕 236×	修 312×	+50×	+30×	38×	76×
	園総義園	2412×	合 1020×	胸 780×	腕前 710×		理 367×	+50×	+30×	園 ×	×
その他	<b>キ大バ 1123×1 ← 点数(インレー単純 + 装着料 + 内面処理加算2 + 金属材料料 + 装着材料料 + キーパー) × 回数を記載する</b>										

※カルテについては、合算点数を記載することで差し支えない。

+

〔キーパー付根面板を装着〕

装着料	装着材料料
45点	17点 等

〔義歯へ磁石構造体を装着〕

有床義歯修理 (マグネット1個につき) (準用点数)	252点
----------------------------------	------

+

磁石構造体 (1個につき)	777点
------------------	------

上記合算点数を、レセプトの「**歯冠修復及び欠損補綴**」の「**その他**」欄に点数及び回数を記載

級	12~14回	1518×	692×	天小 944×	天小 747×	腕 236×	修 312×	+50×	+30×	38×	76×
	歯総義歯	2412×	合 1020×	鉤 腕面 780×	腕面 710×		理 367×	+50×	+30×	歯	×
	その他	マグ 1029×1 ← 点数(有床義歯修理 + 磁石構造体) × 回数を記載する									

【参考事例（R3.9時点）】

【ケース】		
3   3 が残根状態（C3 処置歯）であり、当該部位に磁性アタッチメントを用いて残根上義歯（7 + 7）を製作予定。		
総義歯	補綴時診断料 印象採得料（連合印象） 咬合採得料（総義歯） 仮床試適料（総義歯） 有床義歯（総義歯・レジン床義歯）（装着料・材料料含む） 人工歯料（レジン歯） 新製有床義歯管理料（困難）	90 点 230 点 283 点 190 点 2412 点 25 点+27 点 230 点
磁性 アタッチメント	〔根面板の形成・印象〕 窩洞形成（単純なもの） 印象採得料（連合）	60 点×2 64 点×2
	〔キーパー付根面板を作製〕 根面板（インレー単純） 装着料（歯冠修復）+ 内面処理加算 2 金属材料料（インレー複雑・金パラ） 装着材料料×2 キーパー×2	190 点×2 （45 点+45 点）×2 434 点×2 17 点×2 233 点×2
	〔キーパー付き根面板を装着〕 装着料（歯冠修復） 装着材料料×2	45 点×2 17 点×2
	〔義歯へ磁石構造体を装着〕 有床義歯修理×2 磁石構造体×2	252 点×2 777 点×2